

管理運営状況等評価票

施設名	秋田県営男鹿オートキャンプ場		
指定管理者	株式会社おが地域振興公社		
作成者	山本 晃仁	作成日	令和3年5月23日
確認者	観光文化スポーツ部 観光戦略課	総務班	
職氏名	主事 石川 景悟	TEL	018-860-1461

1 施設の概要

設置年	平成 12 年	営業期間・時間	テントサイト等: 4/10~11/30、コテージ: 通年			
設置目的	恵まれた自然の中で県民が自由時間を利用して行う観光レクリエーション活動のための利便の促進を図り、もってゆとりのある県民生活の実現に寄与するため。					
指定管理業務の内容	秋田県営男鹿オートキャンプ場に関する次の業務 ①管理運営業務②施設整備維持管理業務 ③企画運営業務④事務処理業務					
自主事業の実施状況	なし					
直近3年の年間利用者数	H30	7,124 人	R1	9,428 人	R2	5,905 人
直近3年の年間料金収入	H30	13,375 千円	R1	17,047 千円	R2	14,308 千円
直近5年の収支決算(単位:千円)	H28	H29	H30	R1	R2	
収入計	13,517	12,884	15,302	24,311	14,664	
(内訳)利用料収入	11,755	11,319	13,375	17,047	12,860	
指定管理料						
その他収入	1,762	1,565	1,927	7,264	1,804	
支出計	13,086	12,883	15,257	23,574	14,379	
(内訳)人件費	6,559	6,658	7,308	10,500	4,284	
人件費以外	6,527	6,225	7,949	13,074	10,095	
差引	431	1	45	737	285	

2 観点ごとの評価

(観点Ⅰ) 利用目標の達成状況					
利用目標指標名	利用者数	定義	施設の利用者数		
	R1		R2	R2-R1	R3
目 標	7,150		7,000	▲ 150	6,300
実 績	9,428		5,905	▲ 3,523	
達 成 率	131.9%		84.4%		
実績等の増減原因	利用者数	62.6%	4月21日~5月7日の緊急事態宣言発令に伴う休業及び夏休み期間に密を避けるため、オートサイトの数を縮小して営業を行ったことにより減少した。		
	料金収入	83.9%	利用者数の減少に伴い料金収入も落ち込んだが、高級キャンプを7月~9月に開催し、レンタル用品の売り上げが大きかったため、減少幅を抑えることができた。		
令和3年度利用目標設定の考え方	新型コロナウイルス感染症への感染対策を取りながらの営業となるが、R2実績5,905名に対して7%増の6,300名を目標とする。集客増を図るため、昨年も開催した高級キャンプを今年は開催日を増やして行う。(昨年7月~9月、今年度5月~10月で開催予定)				評価欄
					B

○「利用目標設定の考え方」には、目標設定の参考にした指標(過去の伸び率や前年度数値、類似施設数値等)を具体的に記載すること。

○「評価欄」には、目標値に対する達成率について次の基準により判定した評価を記載すること。

A: 100%以上 B: 80%以上100%未満 C: 80%未満

(観点Ⅱ)利用者満足度の状況				
利用者満足度の状況	H30	R1	R2	R2-R1
	87.2	72.1	70.8	-1.3
利用者アンケート調査結果の活用例	新型コロナウイルス感染症に関することがアンケートでも増えてきており、各コテージやサニタリー棟に消毒液を設置し、掃除や消毒をこまめに行い、感染症対策を徹底して行っている。キャンプ場内で大声を出さないようチェックイン時に説明をし、場内巡回の際にも再度声かけを行っている。			評価欄 B

○「評価欄」には、満足度について次の基準により判定した評価を記載すること。

A:80%以上 B:60%以上80%未満 C:60%未満

評価項目	指定管理者 1次評価欄	所管課 2次評価欄
(観点Ⅲ)管理運営体制の状況	A	A
①有資格者を含む職員配置状況は適切か	10	10
<ul style="list-style-type: none"> ●事業計画書等に照らして適切な職員配置になっている。(5点) ●受付担当者が不在にならないなど利用者に迷惑がかからない配置になっている。(5点) 		
②職員の勤務実績は適切か	10	10
<ul style="list-style-type: none"> ●事業計画書等に照らして適切な勤務実績になっている。(5点) ●各職員が、他の職員の業務状況を把握し手伝えるような工夫をしている。(5点) 		
③職員の処遇等は適切か	10	10
<ul style="list-style-type: none"> ●職員の処遇が労働法規に反していない。(5点) ●職員に対する何らかの福利厚生事業が行われている。(5点) 		
④施設・設備は適切に管理されているか	10	10
<ul style="list-style-type: none"> ●事業計画書等の日常保守管理、定期点検、清掃、警備等の計画に照らして適切に管理されている。(5点) ●施設・設備に目に見える損傷、汚れ等がない。(5点) 		
⑤備品は適切に管理されているか	10	10
<ul style="list-style-type: none"> ●備品台帳に記載されている備品が全て揃っている。(5点) ●備品に目に見える損傷等がない。(5点) 		
⑥個人情報の保護に対する体制の構築が成されているか	10	10
<ul style="list-style-type: none"> ●「個人情報取扱特記事項」が全て遵守されている。(5点) ●職員に対し個人情報保護に関する理解の向上を図っている。(5点) 		
⑦安全で安心できる環境を確保しているか	10	10
<ul style="list-style-type: none"> ●事故防止マニュアル等及び緊急時連絡体制を整備している。(5点) ●職員に対し、研修の実施等の事故防止に関する理解の向上を図っている。(5点) 		
⑧経費節減のための努力を行い、成果を上げているか	10	10
<ul style="list-style-type: none"> ●前年度よりも事務経費を節減する取り組みをしている。(5点) ●実際に経費節減の成果を挙げている。(5点) 		
⑨計画的な修繕等がなされているか	10	10
<ul style="list-style-type: none"> ●施設・設備の修繕に関する年度計画が存在する。(5点) ●利用者が常に安全に利用できる状態に保たれている。(5点) 		
⑩健全な経営がなされているか	10	10
<ul style="list-style-type: none"> ●経理書類が適切に作成され、通帳や印鑑などが適切に管理されている。(5点) ●選定時の各財務指標と比較し、特段の経営の悪化が見られない。(5点) 		

○各評価項目の評価欄には、合致する設問の合計点を記載すること。

○最上段の評価欄には、評価項目ごとの点数の平均値について次の基準により判定した評価を記載すること。ただし、0点の評価項目がある場合は、平均値が8点以上であったときでもB判定とすること。

A:8点以上 B:5点以上8点未満 C:5点未満

評価項目		指定管理者 1次評価欄	所管課 2次評価欄
(観点Ⅳ) サービス向上に向けた取組の実施状況		A	A
①開館日、開館時間等は守られているか		10	10
●仕様書又は事業計画書等に照らして適切な開館状況になっている。(10点)			
②事業計画に掲げられた業務は適正に実施されているか		10	10
●仕様書又は事業計画書等に照らして適正に業務が実施されている。(10点)			
③施設の使用許可、料金減免の手續、説明は適正か		10	10
●料金減免の説明が分かりやすく掲示されている。(5点)			
●仕様書又は事業計画書等に照らして適正に使用許可されている。(5点)			
④職員の接客マナーは適切か		10	10
●全職員が名札を着用し適切な服装をしている。(5点)			
●施設名と対応者名を名乗った電話対応など丁寧な挨拶や対応がなされている。(5点)			
⑤利用者が利用しやすい窓口案内を実施しているか		10	10
●電話やWebサイト等による利用相談がなされている。(5点)			
●来客への対応に関する研修がなされている。(5点)			
⑥全ての利用者が等しく利用情報を得ることができるよう情報発信を行っているか		10	10
●分かりやすいパンフレットの備え付けや、見学希望への対応などに取り組んでいる。(5点)			
●指定管理者名称、指定期間、業務概要等を利用者に周知している。(5点)			
⑦潜在的な利用者へ向けた広報を実施しているか		10	10
●広報誌発行、県・市町村広報への掲載、Webサイト作成、チラシ配布等の広報を実施している。(10点)			
⑧満足度調査の結果、課題がある場合に対応策を講じているか		10	5
●満足度調査から課題を抽出して対応策を講じている。(5点)			
●満足度調査結果及び課題への対応策を公表している。(5点)			
⑨利用者が意見や苦情を述べやすい環境を構築しているか		10	10
●意見・苦情の提出先に関する情報を公表している。(5点)			
●意見・苦情の内容を記録し、対応策を実施している。(5点)			
⑩意見・苦情等を受けて迅速に対応できる体制を構築しているか		10	5
●苦情の受付・解決方法や担当者等を明確にし職員に周知している。(5点)			
●意見・苦情への対応策の実施・公表をしている。(5点)			
(参考)	サービス改善のための具体的取組	R2実績	高級キャンプの開催(7月～9月) 隣県のキャンプ場と連携したスタンプラリーの開催
		R3計画	好評だった高級キャンプを期間を増やし開催する(5月～10月) 県を越えた他施設との連携は、新型コロナウイルス感染症に配慮し今年を取りやめ、男鹿市内の施設との周遊で立ち寄れる企画を実施予定
	令和3年度取組計画設定の考え方		新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めつつ、男鹿市内の他施設との連携により誘客促進を図る。

○各評価項目の評価欄には、合致する設問の合計点を記載すること。

○最上段の評価欄には、評価項目ごとの点数の平均値について次の基準により判定した評価を記載すること。ただし、0点の評価項目がある場合は、平均値が8点以上であったときでもB判定とすること。

A: 8点以上 B: 5点以上8点未満 C: 5点未満

○「取組計画設定の考え方」には、具体的理由(例えば、利用者からどのような要望があったのか等)を記載すること。また、各施設で実施している利用者から意見を聴取するための取組(例えば、投函箱の設置や顧客満足度調査等)については全て記載すること。

3 総合評価

指定管理者 1次評価欄	(講評欄) 新型コロナウイルスによる緊急事態宣言下での休業や、夏休み期間の密を避ける為のサイト数使用制限で利用者数が減ったが(前年比62.6%)、高級キャンプの実施等で収入減少を前年比83.9%に抑えることが出来た。また、感染症対策を徹底した結果、R2年度は、従業員や利用者のコロナ感染者0を達成した。
A	
所管課 2次評価欄	(講評欄) ・コロナ禍による利用者数の減少から、利用目標を達成することはできなかったが、昨年度から期間を限定して実施している高級キャンプの開催等により、黒字を維持することができた。 ・感染動向を見極めつつ、高級キャンプの継続や県内学習旅行の取り込みなどにより、利用者、収益の増加を目指していただきたい。
A	

○総合評価は、「利用目標の達成状況」、「利用者満足度の状況」、「管理運営体制の状況」、「サービス向上に向けた取組の実施状況」の4つの観点の結果を用い次の基準により記載すること。

A:「C」判定がなく、2つ以上の観点を「A」判定の場合

B: A、C以外の場合

C: 各観点のいずれかの評価結果が「C」判定の場合

4 (参考)観点 I を除いた総合評価

(参考) 指定管理者 1次評価欄	(講評欄) 昨年同様、アンケートで料金が少し高いとの声が寄せられているため、検討していく。接客に対しては昨年同様低評価が無かったので、今後も指導を徹底して高評価を維持していく。
A	
(参考) 所管課 2次評価欄	(講評欄) ・昨年度から期間を限定して実施している高級キャンプの開催等により、黒字を維持することができた。 ・感染動向を見極めつつ、高級キャンプの継続や県内学習旅行の取り込みなどにより、利用者、収益の増加を目指していただきたい。
A	

○令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの施設で利用者数等が減少したことから、観点 I 「利用目標の達成状況」を除き(観点 II ~IV「利用者満足度の状況」、「管理運営体制の状況」、「サービス向上に向けた取組の実施状況」の3つの観点をを用い)次の基準により判定した総合評価も参考として掲載する。

A:「C」判定がなく、2つ以上の観点を「A」判定の場合

B: A、C以外の場合

C: 各観点のいずれかの評価結果が「C」判定の場合